

第3号様式

(第1面)

事業活動地球温暖化対策結果報告書

(あて先) 川崎市長

郵便番号 102-8450  
 住 所 東京都千代田区二番町8番地8  
 氏 名 株式会社イトーヨーカ堂 印  
 代表取締役社長 亀井 淳  
 (法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

川崎市地球温暖化対策の推進に関する条例第10条第1項の規定により、次のとおり提出します。

事業者の氏名 又は名称	株式会社イトーヨーカ堂		
主たる事務所 又は事業所の所在地	川崎市川崎区港町12-1		
該当する事業者 の要	<input checked="" type="checkbox"/> 規則第4条第1号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第2号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第3号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第4号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 上記以外の事業者 (任意提出事業者)		
主たる事業 の業種	大分類	I	卸売業, 小売業
	中分類	56	各種商品小売業
主たる事業 の内容	衣料品、住居関連商品及び食品を取り扱う総合小売業		
事業者の規模	<input checked="" type="checkbox"/> 原油換算エネルギー使用量		6,350 k l
	<input type="checkbox"/> 自動車の台数		台
	<input type="checkbox"/> エネルギー起源の二酸化炭素 以外の温室効果ガスの排出の量		t-CO <sub>2</sub>
連絡先	担当部署	担当部署名	株式会社イトーヨーカ堂 施設管理部
		所在地	東京都千代田区二番町8番地8
		電話番号	03-6238-3151
		FAX番号	03-6238-3438
		メールアドレス	
※受付欄		※特記事項	※事業者番号

(第2面)

計画期間及び報告年度	平成22年度 ～ 平成24年度 (報告年度 平成24年度分)
温室効果ガスの排出の量の削減目標の達成状況及び温室効果ガスの排出の量	別添 指針様式第2号のとおり
温室効果ガスの排出の量の削減目標を達成するための措置の実施状況	別添 指針様式第2号のとおり
他の者の温室効果ガスの排出の抑制等に寄与する措置の実施状況	別添 指針様式第2号のとおり
その他地球温暖化対策の推進への貢献に係る事項	別添 指針様式第2号のとおり
備 考	当社の環境対策の取組については、ホームページにて公表しています。 <a href="http://www.itoyokado.co.jp/company/profile/csr/environment/index.html">http://www.itoyokado.co.jp/company/profile/csr/environment/index.html</a>

- 備考 1 欄内にすべてを記載できない場合は、別紙により提出してください。  
2 □のある欄は、該当する□内にレ印を記載してください。  
3 報告書には、事業活動地球温暖化対策指針に定める資料を添付してください。  
4 ※印の欄は記入しないでください。  
5 氏名（法人にあっては、その代表者）を記載し、押印することに代えて、本人（法人にあっては、その代表者）が署名することができます。

### 事業活動地球温暖化対策結果報告

1 温室効果ガスの排出の量の削減目標の達成状況（第1号、第2号、第4号該当者等）

(1) 温室効果ガスの排出の量の状況（排出係数固定）

ア 計画期間の温室効果ガスの排出の量

	基準年度	第1年度	第2年度	第3年度	目標排出量
排出量	(実) 15,006 t-CO <sub>2</sub> (調) 13,844	(実) 12,954 t-CO <sub>2</sub> (調) 11,987	(実) 11,530 t-CO <sub>2</sub> (調) 10,712	(実) 10,916 t-CO <sub>2</sub> (調) 10,093	(実) 14,555 t-CO <sub>2</sub> (調) 13,428
削減率		(実) 13.7 % (調) 13.4	(実) 23.2 % (調) 22.6	(実) 27.3 % (調) 27.1	(実) 3.0 % (調) 3.0

イ 計画期間の温室効果ガスの排出の量に係る原単位等の値

原単位の活動量	売場面積×営業時間		単位	t-CO <sub>2</sub> /m <sup>2</sup> ・百万時間	
	基準年度	第1年度	第2年度	第3年度	目標年度の値
排出量原単位等の値	64.27	57.56	51.09	48.51	62.33
削減率		10.4 %	20.5 %	24.5 %	3.0 %

ウ 計画期間の温室効果ガスの排出の量の状況についての説明

第1年度	基本照明間引き、空調運転管理、従業員のエネルギー削減意識の向上により削減につながりました。
第2年度	電力需要抑制に積極的に協力、大幅な削減につながりました。
第3年度	前年に引き続き電力需要抑制に協力、さらに全店ダウンライトのLED化実施、川崎店は直管型LED器具を一部導入、大幅な削減につながりました。 第1期計画期間では主に運用対策を強化するとともに、LED照明設備の全店導入を順次実施することにより2割強の排出量削減を実現しました。

(2) 温室効果ガスの排出の量の状況（全社目標）

--

3 温室効果ガスの排出の量の削減目標の達成するための措置の実施状況

(1) 温室効果ガスの排出の量の削減のための措置の実施状況

事業所等 (第1号、 第2号、 第4号該当者等)	計 画	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ バックルーム照明消灯 (間引き)</li> <li>・ 店内基本照明調光の調整及びタイマー設定時間の見直し</li> <li>・ 省電力タイプの管球へ交換予定 (または交換中)</li> <li>・ ボイラー運転時間及び設定温度の見直し</li> <li>・ 冷温水発生機の運転時間の見直し及び出口温度の調整</li> <li>・ 冷暖房時の店内温度管理及びこまめな温度設定</li> <li>・ 換気設備などの電動機の運転管理</li> <li>・ 省エネVベルトに随時変更</li> </ul> <p>※上記項目はすべて法的要求事項を満たした中での変更といたします。</p>
	第1年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 各店協力会社 (機械室常駐者) 日々のエネルギー使用状況の把握により管理状況の見直し</li> <li>・ 上記に伴い毎月本社に使用状況の報告にて他店舗との連帯による使用量削減検討や機器導入、更新等の検討</li> </ul>
	第2年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 運用対策項目の徹底実施とPDCAサイクル化</li> </ul>
	第3年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 全店ダウンライトのLED化実施</li> <li>・ 川崎店は直管型LED器具を一部導入、Hf蛍光器具への調光設備導入</li> <li>・ 計画に掲げた削減措置8項目の内、冷温水出口温度管理と省エネ型Vベルトへの変更を除く項目は全て実施しております。</li> </ul>
自動車等 (第3号該当者等)	計 画	
	第1年度	
	第2年度	
	第3年度	



## 4 他の者の温室効果ガスの排出の抑制等に寄与する措置の実施状況

計 画	・オリジナルエコバッグを販売して、エコバッグの収益の中から1枚当り「5円」を、国連で承認された温室効果ガス削減プロジェクトによる排出権の取得に用い、日本政府へ無償譲渡（寄付）することを計画しています。
第1年度	・国連で承認された温室効果ガス削減プロジェクトによる排出権の取得に用い、2010年6月30日付けで500 t-CO2の排出権を、日本政府に無償譲渡を実施しました。
第2年度	なし
第3年度	・第1期計画期間は計画に掲げたオリジナルエコバッグ販売の他、食品廃棄物のリサイクル、レジ袋削減等の環境負荷の低減活動に取り組んできました。定量的報告として食品廃棄物リサイクル率45.2%（2012年実績）、2013年2月度レジ袋辞退率66.1%となっています。

## 5 その他地球温暖化対策の推進への貢献の実施状況

計 画	<ul style="list-style-type: none"> <li>・販売した商品の空容器などを店頭で回収して再資源化</li> <li>・店舗と物流センター間の配送で、プラスチック製のコンテナ箱を繰り返し使用することでダンボール使用量を削減</li> <li>・「古紙リサイクルキャンペーン」を全店で実施し、紙リサイクルの推進を図ります</li> </ul>
第1年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・お客様から商品の空容器などを店頭で回収して再資源化を実施</li> <li>・プラスチック製のコンテナ箱の使用を継続して実施しダンボール使用量を削減</li> <li>・「古紙リサイクルキャンペーン」を全店で実施</li> </ul>
第2年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個別梱包されてくる商品を各店舗の売場別に物流センターで仕分け・一括梱包してから店舗に配送する事で個別商品の梱包に使用していたダンボールを削減。</li> <li>・社内から発生する廃棄物量を抑制するために、日々の仕事のなかで「ごみの3分別」「ごみの3割削減」「ごみ袋の3回使用」を徹底。</li> </ul>
第3年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・計画に加えペットボトルのリサイクル促進、セブンファーム等環境負荷削減の取り組みを引き続き実施しています。</li> <li>・2012年日経新聞社第16回「企業の環境経営度調査」小売・外食部門4位の評価を受けました。</li> <li>・第1期計画期間では、店舗と物流センター間の配送で、コンテナ箱の繰り返し使用と衣料品のハンガー配送により、各年5,000万個以上のダンボール使用削減の成果を得た。</li> </ul>

## 6 前年度の温室効果ガスの排出の量等の実績（排出係数反映）

## (1) 事業者単位

ア 第1号、第2号、第4号該当者等

(実)	10,821	t-CO <sub>2</sub>
(調)	10,806	

イ 第3号該当者等

(実)		t-CO <sub>2</sub>
(調)		

## (2) 事業所等单位（第1号、第2号該当者等）

ア 年間の原油換算エネルギー使用量が1,500kl以上の事業所の一覧

事業所の名称	事業所の所在地	日本標準産業分類 細分類番号	事業所に係る 事業の名称	温室効果ガス の排出の量
イトーヨーカドー川崎港町店	川崎市川崎区港町12-1	5611	総合スーパー	2,557 t-CO <sub>2</sub>
エスパ川崎店	川崎市川崎区小田栄2-2-1	5611	総合スーパー	3,439 t-CO <sub>2</sub>
				t-CO <sub>2</sub>
				t-CO <sub>2</sub>

イ 年間の原油換算エネルギー使用量が原油換算で500kl以上1,500kl未満の事業所の一覧

事業所の名称	事業所の所在地	日本標準産業分類 細分類番号	事業所に係る 事業の名称	温室効果ガス の排出の量
				t-CO <sub>2</sub>
イトーヨーカドー溝ノ口店	川崎市高津区久本3-6-20	5611	総合スーパー	1,915 t-CO <sub>2</sub>
イトーヨーカドー武蔵小杉店	川崎市中原区小杉町3-420	5611	総合スーパー	2,063 t-CO <sub>2</sub>
				t-CO <sub>2</sub>

ウ 年間の原油換算エネルギー使用量が原油換算で500kl未満の事業所の一覧

エネルギー使用量の規模	事業所数
400～500kl 未満	1
300～400kl 未満	
200～300kl 未満	
100～200kl 未満	
100kl 未満	

## (3) 事業所等单位（第4号該当者等）

ア 物質ごとの年間の温室効果ガスの排出の量（二酸化炭素換算）が3,000t以上（二酸化炭素の場合はエネルギー使用に伴い排出したものを除く。）の事業所の一覧

事業所の名称	事業所の所在地	日本標準産業分類 細分類番号	事業所に係る 事業の名称	温室効果ガス の排出の量
				t-CO <sub>2</sub>
				t-CO <sub>2</sub>
				t-CO <sub>2</sub>
				t-CO <sub>2</sub>

イ 物質ごとの年間の温室効果ガスの排出の量（二酸化炭素換算）が3,000t未満（二酸化炭素の場合はエネルギー使用に伴い排出したものを除く。）の事業所の数

事業所数	
------	--